

国産農畜産物で親子を応援 JA全農チビリンピック2025

5月5日、日刊スポーツホールディングス・横浜市スポーツ協会主催の「JA全農チビリンピック2025」が横浜市の日産スタジアムで開催された。JA全農は、スポーツを通じて子どもたちの健やかな心身の成長と親子のふれあいを応援することを目的に特別協賛している。今年で開催47回目を迎え、当日は約8,650人が来場した。

スペシャルゲストとして、全農所属で卓球の石川佳純さんやマラソンの高橋尚子さん、サッカーの中村憲



飲むゼリーを購入する来場者



子どもと餅つきを楽しんだ石川さんらゲスト

剛さんなど多数のスポーツ選手が来場。親子マラソンや餅つき大会などのイベントで親子と交流した。

同スタジアム西ゲート前では「JA全農お楽しみ広場」を開催し、JA全農や県本部などが国産農畜産物の認知度向上を目的にブースを出展した。JA全農かながわは、「足柄茶」や「みかん畑」、県産果実を使用した飲むゼリーやグミを販売し、商品のPRをした。中でもグミは販売開始から2時間ほどで売り切れる人気ぶりだった。そのほか、和牛や国産焼きもちのサンプルも行われ、会場は賑わいをみせた。

爽やかな湘南ゴールドの香り広がる

クラフトビール「湘南ゴールド HAZY PALE ALE」新発売

JA全農かながわは、株式会社坂口屋が運営するクラフトビール醸造所「TDM 1874 Brewery」と共同開発を行いクラフトビール「湘南ゴールド HAZY PALE ALE」を5月16日より新発売した。

同商品は、神奈川の魅力をクラフトビールにして届けたいという想いから開発がスタート。神奈川県西部で採れる「黄金柑」と「今村温州」の掛け合わせで生まれた幻の柑橘「湘南ゴールド」を原料に使用している。JA全農かながわは、神奈川県産湘南ゴールド果汁を原料供給した。

霞がかったような濁りと爽やかな湘南ゴールドの香りが特徴で、まるやかな口当たりのビールに仕上げた。数量限定で販売し、価格は770円（税込み）。「TDM 1874 Brewery」の各店舗と県内JA農産物直売所の一部店舗で販売している。



新発売した「湘南ゴールド HAZY PALE ALE」

県施設野菜最高賞が決定 トマト・キュウリの出来栄を競う

農産総合課が事務局を務める神奈川県施設野菜組合連合会は、3月4日から4月9日までの5日間で神奈川県施設野菜共進会「立毛の部」、4月11日に「野菜の部」を開催した。共進会は、県の代表作物である施設野菜の栽培技術向上と品質改善、生産意欲の向上を目的としている。

立毛の部には、トマト17点、キュウリ14点の計31点が出品。収量や整枝状態、生育状態などを厳正に審査した結果、藤沢市の杉山浩一さん（品目＝トマト）が最高賞である農林水産大臣賞に輝いた。野菜の部には、トマト53点、キュウリ61点の計114点が出品。色、形状、揃いなどを厳正に審査した結果、平塚市の武藤登美夫さん（品目＝トマト）、平塚市の上原正二さん（立毛の部）

	氏名	品目	支部名
農林水産大臣賞	杉山 浩一	トマト	藤沢
神奈川県知事賞	吉川 猛	キュウリ	平塚
	武藤登美夫	トマト	平塚

（野菜の部）

	氏名	品目	支部名
神奈川県知事賞	武藤登美夫	トマト	平塚
神奈川県知事賞	上原 正二	キュウリ	平塚

ん（品目＝キュウリ）が最高賞である神奈川県知事賞に輝いた。

審査をした同センター普及指導部野菜課の三神和彦課長は「気温の低下や病害虫対策など栽培管理に苦労されたかと思うが、大きさや色回り、揃いが良く、丹精込めて作られたことがわかる品質の高いものが出品されていた」と評価した。神奈川県施設野菜組合連合会の立川幸宏会長は「共進会があることによって、良い品質のものを生産しようという意欲が高まる。今後も、より良いものを出荷できるようにしたい」と語った。



トマトの審査をする審査員ら

建築のお申し込みでカタログギフトを進呈中

JAマイホーム・アパート建築キャンペーン

施設部は、5月19日から7月31日まで「JAマイホーム・アパート建築キャンペーン」を実施しています。

期間中に建築確認申請依頼書をいただき、かつ依頼日から1年以内に施設建設契約を締結していただいた方に、カタログギフトの進呈を行っています。キャンペーン詳細は全農かながわホームページをご覧ください。



詳細はこちらから

